

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第2回 大木中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年 7月 16日 (火) 18:00 ～ 19:15

2 場 所 会議室1

3 学校運営協議会委員長あいさつ

- ・手足口病気をつけて
- ・全国学調 CBT 実施アナウンスあり そういう時代である

4 学校長より

(1) 中学校 CS 連絡会議報告

- ・各校取り組み、合同委員会取り組み等について協議。
- ・学習会講師は県立心の医療センター内ユースメンタルサポートみえに依頼。「10代のメンタルヘルス」。委員長から依頼済み。
- ・津市ではほとんどの学校で講演を行っている。PTAで8月に教育を語る会で依頼している。
- ・1学期から赴任。様々な行事があった。一部定期テストではPC活用している。先進校では採点すべてPCで行っているところも。本日から3日間保護者会行っている最中。

5 学校の状況等

(1) 教務について

・危機管理マニュアルについて説明

熱中症対応について 体育館、グラウンド WBGT 測定値 31以上活動停止 今年度すでに停止の例あり

＜委員＞若松小体育委員している 日々WBGT 測定管理している 大木中は常時か

＜学校＞顧問が水分補給や適切な休憩、運動内容等を配慮している。

WBGT 28以上は国の通知に基づいて対応している。

(2) 研修について

- ・大木中学校職員で取り組む学習スタイルについて説明。教師主導の指導から生徒の自主性を引き出す指導スタイルを試みている。学習する相手が偏るなど課題はあるが、生徒が自分のニーズに合わせた学習ができることや、教師が支援の必要な生徒へ対応し易いなどのよさがある。

＜委員＞大体の生徒は使いこなせているのか

＜学校＞機械を使うという意味では、教員のほうが弱いくらい。であるが、存分に使って課題に取り組めているかというところそこに差がある。

(3) 生徒指導について

- ・交通指導について、担任を通じてマナーの指導をしている。100%とはいえないが、比較的秩序を守り生活している。

5 報告・協議事項

(1) 部活動の外部指導者の募集について：学校長

- ・現状3名について活動中。卓球部の+1名について、副業禁止の職業従事者について任用できない状況がある。学校では対応できない事案。ソフトボール部について、中体連終了し部員

0. 他の部活について適任者あれば紹介を。

(2) 学校部活動及び新たな地域クラブ活動について

・教育指導課説明資料（資料1、資料2、生徒保護者宛配布文書）で説明

＜委員＞現地へどのように行くのか

＜学校＞保護者送迎か、公共交通機関等の利用等、各自で。

(3) 学校危機管理マニュアル及び「校区危険箇所点検一覧表」について

・教育支援課管轄（校区危険箇所点検一覧表）で校区の危険箇所について確認している。主だったところについて各小学校から挙がっている。廃屋など危険な箇所が他にあればメモ書きで学校へいただけたらありがたい。

＜委員＞廃屋若松多い。④あいかわ学園は現在借り手が決まっているため削除を。若松浜田地区大木中学校区。

【自由討議】

＜委員＞昨年度ミニバスの強い選手がいたと思うが、中学生になってどうなっているか。

＜学校＞競技によりまちまち。

＜委員＞外部で活動していても、中体連に参加できるのか

＜学校＞できる。移行の流れとしては、引率を保護者対応の流れである。水泳の全国大会はすでにそうになっている。

＜委員＞デジタル教科書は入っているか。

＜学校＞教員用は社会、数学、理科、英語。

＜委員＞公立学校は紙教科書志向が強いのでどうかと思って質問した

＜委員＞3年前から、当時の顧問教員が初心者ということがあり、卓球部について関わりある

＜委員＞保護者から、カバンがクニャクニャで対処方法がないか質問受ける。どうしたらよいか。

＜学校＞ファイル等を活用して対応していただきたい。

＜委員＞カバンのそこにプリントが溜まってしまうそうだが

＜学校＞保護者で確認してもらうところもある

＜委員＞息子には色付きファイルで管理するよう指導していた

6 その他

(1) 夏休みの閉校日について 前後土日祝と合わせると長期にわたり閉校となる

(2) ホルムアルデヒド検査 7月24日9:00-25日9:00 学校対応不可

(3) 登校日 8月22日

(4) 教育講演会 8月22日午後 申込みは教頭まで

(5) 図書館開放8月スケジュール 夏休みは試験的に平日開放行う

(メディアセンターと会議室1)

長太小、若松小については保護者引率を考えている

7 教育委員会から

・「時代の流れ」今の授業は一見違和感があるかもしれない。これまでと学び方が違う。大木中学校は課題解決力をどう伸ばすか指導するかを研修している。

・テストについては、紙でやってきたが、みえスタディ・チェックで端末を使っている。子どもたちは慣れているとはいえ、答え方等難しいところもあるかもしれないが、端末に向かってテストするとなっている。学調については、あの量をスクロールして対応できるのか、時代にあっていくのであろうがなかなか想像が難しいが、先生方には支援していただかねばならない。

紙ならできるが、デジタルでは・・。デジタルになることで対応のハードルが上がる、大変な世の中である。

・部活について、教員のなり手がいないなど、働き方改革の一つ。土日について地域でというもの。指導者がいなくて難しい。大木中は3つもの部活に指導者がいて恵まれている。他中にはなかなかそこまでいない。地域でも応援を。

・図書館を外部へ開くのは新しい取り組み。セキュリティの問題あるが、ここはシャッターがあり、他校では真似ができない。どのようなメリットがあるのか大木中から発信を。他校が右に習うことはできないと思うが発信を。ボランティアにも協力を。箕田の子は子どもだけでもできる。課題もあろうが、この場で話し合っていたきたい。

8 追加分

＜委員＞CBT 2 5 年度学調理科で始まるが、プレテストは計画しているのか。あれば情報提供を。

＜学校＞すでにみえスタでやっている。紙のように見比べることができないため、紙の扱いとは異なると思うが、子どもたちは慣れているのではと思っている。

＜委員＞今後新しい情報が入ったら、情報提供をお願いしたい。

＜委員＞若松でスポーツクラブ、大木中学校生徒も指導者として来てくれている。対象は小学生14種目であるが、体制を整えば中学生にも参加してほしい。今後も協力を。20日若松のまつり予定。こども300、大人200想定している。

以上